

され、開通したのは1848・10である。この鉄道はシカゴから西部へ向って建設された最初の鉄道である。

他方1859年には既存の3小鉄道が合併してシカゴ・アンド・ノースウェスタン鉄道会社が設立された。1864年このシカゴ・アンド・ノースウェスタン鉄道は前記のガレナ鉄道を合併し、1,500kmの線路をもつ鉄道になった。さらに他の鉄道の合併・買収・買収および新線の建設によって急速に大きくなり、1901年にはその営業キロは13,376kmにまで達した。

1935年にはいわゆる「400列車」の運転が開始された。シカゴ＝セントポールおよびミネアポリス間約400マイルを約400分で走行するので、この名が付けられている。同年またユニオン・パシフィック鉄道との接続により、最初の長距離流線形旅客列車「シティ・オブ・ポートランド」の運転が開始された。

この鉄道会社は唯一の従属会社であるシカゴ・セントポール・ミネアポリス・アンド・オマハ鉄道会社(独立経営されている)とともにシカゴ・アンド・ノースウェスタン鉄道系を構成している。

主要線路はシカゴからネブラスカ、アイオワ両州境のオマハまで、シカゴからミネソタ州のミネアポリスを経てオマハまで通じている。シカゴからミルウォーキーに通ずる線路はミシガン湖の西岸にそって北へ延びている。オマハからはノーフォーク経由ワイオミング州のレンダーまで、ミネアポリスからはスベリオル湖岸のダラスまで通じている。シカゴ＝ミルウォーキー間およびシカゴ＝オマハ間の輸送量がとくに多い。

1951 暦年度の営業成績は

営業収入	203,477,012 ドル
営業費	178,354,340 "
営業係数	87.65 %
貨物輸送トン数	57,938,403 t
1 トン平均輸送キロ	330.98 km
旅客輸送人員	22,529,299 人
1 人平均乗車キロ	79.81 km

貨物輸送トン数のうち鉱産物は44.5%、工業製品および雑品目は28.8%を占めている。

1951 年末現在の線路キロ数および車両数は

線 路

総営業キロ	12,742 km
同社所有路線営業キロ	12,252
総軌道延長	19,462
自社所有軌道延長	18,558

車 両

蒸気機関車	682 両
ディーゼル電気機関車	404
貨 車	44,769
客 車	1,089
事業用車両	1,814

シカゴ＝オマハ間の複線区間には集中列車制御方式(C.T.C.)が実施されているが、西シカゴからネルソンまでの121 kmの区間はアメリカにおいて1制御所によって制御されている最長のものであるといわれている。

シカゴから太平洋岸へ直通運転されている代表的急行列車「シティ・オブ・サンフランシスコ」はシカゴ＝サンフランシスコ間3,640kmを40時間50分、「シティ・オブ・ロスアンゼルス」はシカゴ＝ロスアンゼルス間3,701kmを40時間15分で走っている。

参考文献 Henry Sampson 編 World Railways 1954～55。

Tothill Press Ltd. 発行 Directory of Railway Officials and Year Book 1953～54. Interstate Commerce Commission 編 Statistics of Railways in the United States, 1951。

(光延有三)

シカゴ・バーリントン・アンド・クインシーつどう シカゴ・バーリントン・アンド・クインシー鉄道 (米) Chicago, Burlington and Quincy Railroad Company 1級鉄道、本社所在地 Chicago, Illinois, U.S.A.。

1849・2シカゴの近郊オーロラの市民の一団は、当時シカゴに通じていた唯一の鉄道であるガレナ・シカゴ・ユニオン鉄道とオーロラ市を連絡する19.3kmの鉄道建設の免許を受けた。これがこの鉄道の始まりである。1901年この鉄道はグレート・ノーザンおよびサザン・パシフィックの両鉄道へ売却され、その後における線路の建設はこれら両鉄道全体の線路網との均衡のもとに進められた。

バーリントン鉄道の従属鉄道のうち最大のものはコロラド・アンド・サザン鉄道(線路延長約3,220km)であるが、この鉄道はさらにフォート・ウォース・アンド・デンヴァー鉄道その他を従属鉄道としている。

主要線路はシカゴから北西へミシシッピ溪谷をさかのぼり、サヴァンナを経てセントポールおよびミネアポリスに達し、西へ向う線路は伊利ノイ、アイオワ、ネブラスカおよびワイオミングの諸州を経てモンタナ州のビリングスに達している。

1951 暦年度の営業成績は

営業収入	266,593,668 ドル
営業費	189,234,238 "
営業係数	70.98 %
貨物輸送トン数	53,344,607 t
1 トン平均輸送キロ	562.13 km
旅客輸送人員	10,421,176 人
1 人平均乗車キロ	127.62 km

貨物輸送トン数のうち38.7%は鉱産物、27.9%は工業製品および雑品目、22.9%は農産物である。

1951 年末現在の線路キロ数および車両数は

線 路

総営業キロ	14,223 km
自社所有路線営業キロ	13,305
総軌道延長	21,994
自社所有軌道延長	20,133

車 両

蒸気機関車	561 両
ディーゼル電気機関車	490
貨 車	42,991
客 車	1,046
事業用車両	4,986

主要旅客列車としてはシカゴ＝サンフランシスコ間に「カリフォルニア・ゼファー」が運転されている。所要時間は約50時間である。

参考文献 Henry Sampson 編 World Railways 1954～55. Tothill Press Ltd. 発行 Directory of Railway Officials & Year Book 1953～54. Interstate Commerce Commission 編 Statistics of Railways in the United States, 1951。(光延有三)

シカゴ・ミルウォーキー・セントポール・アンド・パシフィックつどう シカゴ・ミルウォーキー・セントポール・アンド・パシフィック鉄道 (米) Chicago, Milwaukee,